

**製品名: LC3A マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM84980**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 14 kDa; Observed MW: 14,16 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LC3A Microtubule-associated proteins 1A/1B light chain 3A; Autophagy-related protein LC3 A;
別名	Autophagy-related ubiquitin-like modifier LC3 A; MAP1 light chain 3-like protein 1; MAP1A/MAP1B light chain 3 A; MAP1A/MAP1B LC3 A; Microtubule-associated protein 1 light chain 3 alpha
遺伝子 ID	84557.0
SwissProt ID	Q9H492
免疫原	大腸菌で発現した精製組み換えタンパク質。

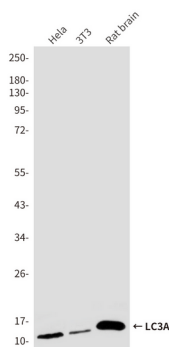
## 背景

オートファジーマーカーである軽鎖3 (LC3) は、当初は微小管関連タンパク質 1A および 1B (MAP1LC3 と命名) のサブユニットとして同定され、その後、オートファジーに重要な酵母タンパク質 Apg8/Aut7/Cvt5 との相同性を持つことが明らかになりました。ヒト LC3 には3つのアイソフォーム (LC3A、LC3B、LC3C) があり、オートファジー中に翻訳後修飾を受けます。LC3 は合成直後にカルボキシ末端で切断され、細胞質 LC3-I 型となります。

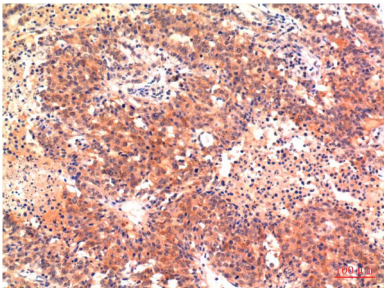
## 研究分野

オートファジー

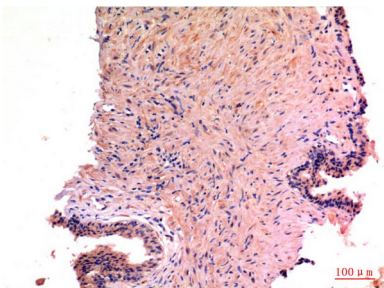
## 画像データ



LC3A 抗体を使用した、Hela 溶解物、3T3 溶解物、ラット脳溶解物中の LC3A (8F5) のウエスタンプロット分析。



LC3A 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



LC3A 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト前立腺癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。